

被爆70周年祈念

残 夏 -1945-

1945年 広島・長崎に原爆が落とされた
被爆した聞こえない人たちはどうしていたのか
彼らが見たあの夏…
2015年 被爆70周年を迎えます

演出 野崎美子

脚本 米内山陽子(チタキヨ)

出演 日野原希美 渡辺英雄 貴田みどり 五十嵐由美子
砂田アトム 宮崎陽介 西田夏奈子 霊境 大橋ひろえ

サイン アート プロジェクト.アジアン第5弾公演 & 10周年記念公演

日 時

2015年7月18日(土)

① 13時～(12時30分開場) ② 18時～(17時30分開場)

会 場

広島市東区民文化センター・大ホール

(住所:広島市東区東蟹屋町10-31)

料 金

全席自由 一般:2,999円 / 小中学生:2,000円

(チケット取り扱い・お問い合わせ先)

一般社団法人広島市ろうあ協会

〒732-0052 広島市東区光町2-1-5広島市心身障害者福祉センター内

TEL/FAX 082-262-2579 E-mail hcd22-7.6jsl@hi.enjoy.ne.jp

NPO法人広島県手話通訳問題研究会

〒732-0052 広島市東区光町1-11-5-508 チサンマンション広島

TEL 082-568-6770 FAX 082-568-6771 E-mail hirotsu-ken@nifty.com

振込先 「被爆70周年祈念公演実行委員会」ゆうちょ銀行 記号 01330-4 番号 90827

他金融機関からの振込番号 一三九(イサキウ)店 当座 0090827

残夏(さんか) – 1945 –

「聞かせて下さい。あなたの手に残された夏を_____」

夏実は離婚した夫との間に生まれた耳の聞こえない娘の結と二人暮らしの新聞記者。

夏実と結の関係は断絶しようとしていた。

夏実は自分の母、康子と思春期に断絶して以来、必要以上に会わずに人生を過ごして来た。

ある日、終戦七〇周年の記事の一端を任せられた夏実は母のこと思い至る。

母はろう者で、終戦間際の長崎で生まれ、被爆している。

被爆したろう者の体験談を聞くと夏実は通訳を依頼する。

通訳者としてきたのは元夫である沢口だった。

広島で、ろう者の語る壮絶な被爆体験は夏実に母を思い起こさせる。

夏実は通訳である沢口を伴って帰郷。母娘はひさしぶりの対面を果たす。

「同じだ。わたしは大嫌いだったこの人と同じ母親になっているんだ……。」

やがて通訳を介して語られる母の半生。そして母の両親の被爆—
もつれて、からまって、途切れていますが、七〇年の母娘の物語。



日野原希美



渡辺英雄



貴田みどり



五十嵐由美子



砂田アトム



宮崎陽介



西田夏奈子



零 境



大橋ひろえ

舞台監督 清水義幸(カファンタ)
宣伝カメラマン 中島福美
プロデューサー 大橋ひろえ
企画・製作 サイン アート
プロジェクト. アジアン

主 催 : 一般社団法人 広島市ろうあ協会
特定非営利活動法人 広島県手話通訳問題研究会西部ブロック
協 力 : 広島県手話サークル連絡協議会
広島県立広島ろう学校・広島南特別支援学校同窓会
後 援 : 一般社団法人 広島県ろうあ連盟
特定非営利活動法人 広島県手話通訳問題研究会
広島県 広島市 中国新聞社
テレビ新広島 広島テレビ 広島ホームテレビ
公益財産法人広島観光コンベンションビューロー